

2. 災害発生時の対応

1) 透析中に大きな地震が起きた場合

(緊急地震速報が流れた場合)

一般的に揺れは長くても1分間といわれていましたが、東日本大震災では、約3分の揺れが続いたといわれています。スタッフも揺れている間は動くことができなくなることが想定されます。

(1) 「自分の身は自分で守る」の気持ちで下記のことを行ってください。

- ① 透析用針が抜けないように透析をしていない方の手で、血液回路と腕を抑えます。
- ② 揺れでベッドから振り落とされないように、ベッドの枠などにつかまります。

※ 揺れている間、パニックになって立ち上がると針が抜けて大出血する原因になります。揺れている間はベッドにじっとして下さい。

(2) 揺れがおさまったら

- ① そのままベッドで横になって下さい。
- ② スタッフが患者さんの状態を順番に確認して回ります。
- ③ 医師やスタッフが被害状況を確認し透析を続けるか中止するかを判断します。停電時はバッテリーに切り替わり、20分は血液ポンプが作動するので、すぐに血液が固まる心配はありません。

※ 緊急地震速報について

最大震度が5弱以上と予想された場合に発表されます。テレビ、ラジオ、携帯電話などで流されます。

(3) 緊急に離脱が必要な場合

火災、津波、建物の倒壊の危険性などにより、緊急避難が必要な場合があります。

スタッフが以下のことを行います。慌てずベッドでお待ち下さい。

① 離脱準備

透析中止の指示にて返血を行います。停電時は、通常の返血操作が行えませんが、機械横の生理食塩水を用いて返血します。

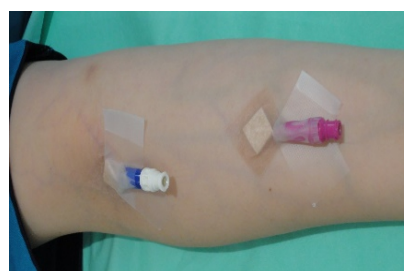
② 離脱操作

回路と針の接続を外します。返血の余裕がない場合は、血液を残したまま外し、針が抜けないように固定の確認を行います。

血液回路と針の接続部



外した後



※針の接続部は逆止弁となっていて、外しても出血しない構造となっています。

(4) 緊急離脱その後

● スタッフの誘導に従って避難します。

- ① けがをしないよう必ずスリッパ、靴を履いて下さい。
- ② 火災が発生したら、煙を吸わないようにタオル等で口を覆って姿勢を低くして避難します。
- ③ 避難する際は、針が抜けないように気を付けて下さい。

避難出入口 : 正面玄関、透析患者用出入口、職員用出入口の計3か所です。

避難場所 : 郡司分公園へ避難します。場合により第一高校へ移動するかもしれません。

● 徒歩での郡司分公園までの避難経路



- 避難場所で安全を確認・止血を行います。
すぐに帰宅したり、勝手にその場を離れたりしないようにして下さい。
必ずスタッフの指示に従って下さい。

- ① 患者さんの状態を確認します。体調の悪い方はお申し出下さい。
- ② 人数の確認をします。
- ③ 止血・けがの手当てを行います。
- ④ 次回の透析スケジュールを説明しますので、確認してから帰宅して下さい。

※ 当院での治療継続が困難と判断される場合は、スケジュールの説明が遅れます。

● 帰宅していただきます。

帰宅困難の方はスタッフにご相談下さい。

2) 自宅にいる時に大きな地震が起きた場合

● まず身の安全を確保することが重要です。

- ① 家具の転倒などから身を守り、揺れがおさまるのを待ちましょう。
揺れがおさまったら、被害の程度を確認します。被害の状況により
ドア・窓が開かなくなることがあるため、出口の確保をします。
停電に備え、日頃から懐中電灯をすぐに使える場所に置いておきましょう。
けが防止のため足元にはスリッパを準備しておきましょう。
- ② テレビやラジオで地震の情報を集めて現状の把握に努めます。被災
状況次第で、今後の行動を決めましょう。
- ③ 避難所に行かれた場合、避難スタッフに「自分が透析患者」である
ことを伝え、支援を依頼して下さい。
また、「人工透析患者連絡カード」を提示して下さい。

※ 人工透析患者連絡カードは常に携帯するようにしましょう。

● 災害時の連絡手段

- ①電話：病院又はスタッフの携帯電話からの連絡に注意して下さい。
- ②災害伝言ダイヤルを活用して下さい。（※P8参照）
- ③宮崎県透析メールを活用して下さい。（※P9参照）

3) 災害発生後の透析

● 当院での透析が可能な場合

次回の透析予定日の通り、ふくどめクリニックへ来院して下さい。
通信可能な状況であれば、被災状況の確認を含め、当院から連絡します。

● 当院での透析が不可能な場合

当院での透析が不可能な場合は、被災規模の状況に応じて、今後の治療計画が大きく異なってきます。

(1) 近隣の透析施設での透析が可能な場合

他施設で透析を受けることになります。透析開始時間等の必要な連絡は、当院より行います。指定の時間に他施設へ行かれて下さい。

(2) 遠方（宮崎市外）での透析となった場合

都城、小林地区で透析を受けることになるかもしれません。電話がつかねば、施設名など連絡しますが、患者さんと連絡がとれない場合は、ふくどめクリニックの玄関に張り紙をします。患者さん自身で他施設へ通っていただくこととなります。